

2024 年度事業報告書

特定非営利活動法人 記録と表現とメディアのための組織[remo]

1. 事業期間

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

2. 事業の成果

設立より 23 期目の年となった 2024 年度は、継続している事業と新規の事業とを新たな気持ちで行った 1 年となった。

AHA! [Archive for Human Activities／人類の営みのためのアーカイブ]は、10 年近くじっくりと続いている「穴アーカイブ」（東京都世田谷）と「ホーム・ムービング！」（茨城県水戸）、自主レーベルとして版元完売した書籍『わたしは思い出す』と取材・調査・編集集中の『慰問文集再々発行プロジェクト』、そして昨年度から現在にかけて温めている企画たちについてブラッシュアップと予備調査を進めている。日々の活動については、2019 年より始めているニュースレターにて月 1 回程度情報発信、2025 年 3 月末には 69 号目を配信した。購読者も 700 名ほどとなり、即時性に特化した SNS とは異なる、定期購読メディアとして編集に注力している。

Alternative Media Gathering は、今年度は 2 回開催。また、remo が入居しているコーポ北加賀屋が出展した豊田市美術館での展覧会で、Alternative Media Gathering で築いた関係性を顕在化したようなコンテンツを提供する機会に恵まれた。

ご近所映画クラブは神戸と大阪で開催。事前申し込みの参加希望者があつという間に締め切りとなる盛況ぶりだった。リピーターとしての参加者もいるなど、少しずつ認知度があがってきている。

そして、石川県珠洲・奥能登で新たに参加型アーカイブプロジェクトが始まり、プロジェクトディレクションを担当。拠点となる「スズレコードセンター」の開設に向け、鋭意準備中である。

資金面は、事業受託や書籍販売などの収益、そして寄付金により事業の実施と管理費の維持に努めた。

今後、これまでのノウハウと人脈の蓄積をどう次に活かしていくか。これまでの事業の継続と並行し、新たな展開を見据えた事業の検討と予算の確保、蓄積した資源の整理や分析、そして情報発信を行えるような法人の体制を検証していく必要がある。

3. 事業の実施状況

< 特定非営利活動に関する事業 >

(1) メディア表現の発表、鑑賞機会の企画運営事業

[事業の対象者] 不特定一般

①AHA! [Archive for Human Activities／人類の営みのためのアーカイブ]

①-1 「穴アーカイブ：an-archive 世田谷の8ミリフィルムにさぐる」

[実施内容] 昭和30～50年代の世田谷の風景や生活がパーソナルな視点から記録された8ミリフィルムを貴重な共有財と捉え直し、収集・公開・保存・活用していく映像アーカイブプロジェクト「穴アーカイブ」に、2015年より企画制作として関わっている。2024年度は、具体的には、1) SNSを用いた広報活動、2) ウェブサイトを活用した交流プログラム（せたがやアカカブの会、生活工房アレコレ2024、エトセトラの時間）の設計と運営を担った。1) については、とくにX（旧twitter）を活用して、ウェブサイトに公開している84タイトルに関する思い出やエピソードをひろく募集し、ウェブサイトの利活用を促進する動きを活発化させた。2) については後述のとおり。

参考URL：<https://www.setagaya-ldc.net/program/444/>

* 「せたがやアカカブの会」

[内容] かつての世田谷を記録した「8ミリフィルム」を手がかりに、いま・ここにいる私たちと映像との関係を結びなおす試み。時間をかけてじっくりと観ながら、紡ぎ出された記憶や想像の断片をじっくりと語り合う定例会。2024年度は、対面でのワークショップとハガキでのアンケート方式とのハイブリッドで開催した。ワークショップの成果は広報紙「かぶうずら」としてまとめ、生活工房ウェブサイトにて公開中。また、ワークショップの様子を映像で記録し、生活工房ウェブサイトにてダイジェストの動画として現在公開中。

参考URL：<https://www.setagaya-ldc.net/program/591/>

[場所] 世田谷文化生活情報センター生活工房 ワークショップルームA（1月のみセミナールームB）

[時間] 14:00～15:30

1回目

[日時] 2024年6月2日（日）（ハガキ募集期間：2024年5月8日～6月7日）

[参加者数] 18名（+ハガキ回答4名）

2回目

[日時] 2024年10月6日（日）（ハガキ募集期間：2024年8月8日～10月2日）

[参加者数] 8名（+ハガキ回答6名）

3回目

[日時] 2025年1月19日（日）（ハガキ募集期間：2024年12月8日～1月18日）

[参加者数] 12名（+ハガキ回答0名）

*生活工房アレコレ2024 8ミリフィルム常設上映

[内容] 生活工房のバックヤードに眠る事々物々を小さく紹介する「生活工房アレコレ」にて、毎月8日、ウェブサイト「世田谷クロニクル」で公開中の映像を入れ替えながら、来場者から映像をきっかけに思い出したエピソードを募った。

[日時] 2024年4月9日(火)～2025年4月6日(日)

[場所] 世田谷文化生活情報センター生活工房 ギャラリー (3F)

*エトセトラの時間 見えるものと見えないものを語る会

[内容] 目の見える人、見えない人、障害の有無にかかわらず多様な背景を持つ人と集まって、8ミリフィルムの映像をオンラインで鑑賞。見えるもの、見えないもの、様々な視点や参加者が持ち寄った言葉を交わしながら、「エトセトラ」の時間を楽しむ。視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップと共同で本企画を実施した。

[日時] 2024年7月15日(月・祝)、2025年1月18日(土) 全日 14:00～16:30

[参加者数] のべ20名

①-2 「移動する中心 | GAYA」

[内容] 昭和の世田谷をうつした8ミリフィルムのデジタルデータを活用し、映像を介した語りの場を創出するコミュニティ・アーカイブプロジェクト。2024年度は参加者5人が書いた「アーカイブにまつわるエッセイ」をnoteに掲載した。

参考 URL : <https://aha.ne.jp/si/>

https://note.com/gaya_2020

①-3 ホーム・ムービング！

[内容] 市井の人々の記録や記憶をとおして、水戸の生活風景を考えるアーカイブの取り組み。2017年から始まった本プロジェクトでは、水戸市民から提供された8ミリフィルムのデジタル化と公開作業を進めてきた。2024年度は、2回の上映会の企画・進行役を務めた。

*8ミリフィルム鑑賞会「古澤さんちのホームムービーをみてみよう！」

[日時] 2025年3月2日(日) 14:00～15:30

[場所] 水戸芸術館現代美術ギャラリー内ワークショップ室

[参加者数] 21名

参考 URL : https://www.arttowermito.or.jp/gallery/lineup/article_5375.html

*ブリッジカフェ (〈ブリッジ アートとケアをつなぐ〉の一環)

[日時] 2025年3月19日(水) 10:00～12:00/13:00～15:00

[場所] 水戸芸術館現代美術ギャラリーワークショップ室

[来場者数] 69 名

参考 URL : https://www.arttowermito.or.jp/gallery/lineup/article_5369.html

①-4 わすれものセンター 桃太郎公園出張所

[内容] 外国人観光客の増加率が全国 1 位となった愛知県犬山市（ナビタイムジャパン調べ、2024）にて、遺失物や迷子のエピソードを聴く試み。今年は、みんなのアーカイブと Landschaft 主催で、犬山市栗栖に所在する桃太郎神社の麓、「桃太郎公園」に出張。1 日限りの仮設の「わすれものセンター」を開室した。

[日時] 2024 年 11 月 30 日（土）11:00～16:00

[場所] 工房「尾張桃山」（桃太郎公園内）

[来場者数] 26 名

参考 URL : <https://note.com/a4e/n/nad82cc4fbc8b>

①-5 特別小展示 はな子のいる風景

[実施内容] 2017 年に開催された企画展覧会「コンサベーション__ピース ここからむこうへ」にあわせて刊行された記録集『はな子のいる風景：イメージを（ひっ）くりかえす』（武蔵野市立吉祥寺美術館、2017）。本書に収録されている記念写真の一部を原寸大（複製）で展示。また、完売状態の本書をゆっくり閲覧するためのコーナーも設置した。

[日時] 2024 年 11 月 14 日（木）～12 月 3 日（火）10:00～19:30

[会場] 吉祥寺美術館 ロビースペース

[来場者数] 760 名

参考 URL : <https://www.musashino.or.jp/museum/1002006/1002258/1007354.html>

①-6 東京都美術館 開館 100 周年企画展 リサーチプロジェクト予備調査

[実施内容] 2026 年に開館 100 周年を迎える東京都美術館での企画展内で実施予定のリサーチプロジェクトに、企画を提案するための予備調査および企画案の策定を行った。

①-7 回想録『わたしは思い出す』

[内容] 人は経験していないことを、どのように経験できるのか。せんだい 3.11 メモリアル交流館およびデザイン・クリエイティブセンター神戸での展覧会「わたしは思い出す」（2021 年）の内容に、新たな要素を加えて再構成。1 冊の書籍にまとめ、2023 年 1 月に AHA! 出版レーベル第 1 弾として刊行。2023 年 6 月に版元在庫は完売した。

[書籍名] 『わたしは思い出す I remember — 11 年間の育児日記を再読して』

[発行] 2023 年 1 月 11 日

[仕様] W110×H160 / 並製 / 832 頁

[価格] 3,500 円 (税込)

参考 URL : <https://aha.ne.jp/iremember/>

また、2023 年に水戸芸術館の企画展にて巡回展示した「わたしは思い出す」の会期中に、会場内で「あなたの《わたしは思い出す》」と題したアンケートを募集。集まった 357 通のエピソードの一部を AHA! の note で公開した。同時に、これらをエピソードの日付にあわせて配信するメールマガジンの試みを始めた。

参考 URL :

https://note.com/aha_2005/n/n7587074b941a?magazine_key=m62982cace01f

https://note.com/aha_2005/n/n3c4aa7e2ac89?magazine_key=m62982cace01f

①-8 戦時中の子どもたちが書いた"平和への願い"を再びなぞる。『慰問文集』再々発行プロジェクト

[実施内容] 戦地の兵士を励ますために書かれた「慰問文」の再々発行をめざして、岐阜県美濃加茂市伊深町において関係者への取材、文献調査、複写作業を 2019 年より実施。80 年前、40 年前に綴られた『慰問文集』をとおして、戦場の父や兄に、子どもたちはどんな言葉を送ったのかを探っている。新型コロナウイルス感染症の 5 類移行を踏まえ、伊深での取材・調査を再開。取り組みの様子を伝える広報誌『なぞりがき』を 2024 年 8 月に発行した。

参考 URL : https://motion-gallery.net/projects/nazoru_to_zureru/updates

②Alternative Media Gathering

*フィクションと芸術：破局の論理をうちくたく！

[実施内容] 芸術とフィクションの実践を通じて人々の生活を危機にさらす諸問題を語り合い、破局的な現実の異なる見方を探求してきたエンメディア・コレクティブのレオニダス・マルティンをゲストに迎えて過去 20 年の試みをご紹介いただき、今日わたしたちの直面するグローバルな課題に取り組むユーモアあふれる芸術とフィクションの技法を議論した。

参考 URL : <https://www.remo.or.jp/ja/2024/0426-1148.html>

[実施日時] 2024 年 5 月 2 日 (木) 18:30~21:00

[場所] remo / コーポ北加賀屋

[ゲスト] レオニダス・マルティン

[参加者数] 30名

* インフラ研究会 presents ブック・パーティ『アンチ・ジオポリティクス』

[実施内容] かねてオルタナティブ・メディア・ギャザリング、イタリア現地調査など多々ご協力いただいた北川さんの著書をめぐって、ブック・パーティを開催した。

参考 URL : <https://www.remo.or.jp/ja/2024/0911-1170.html>

[実施日時] 2024年9月29日(日) 15:00~19:00

[場所] remo / コーポ北加賀屋

[ゲスト] 第一部：書評会

評者：阿部小涼(琉球大学) / 大野光明(滋賀県立大学)

著者：北川眞也(三重大学)

第二部：交流会

登壇者：阿部小涼、大野光明、北川眞也、堀真悟、しろー 他

司会進行：原口剛(神戸大学) / 大畑凜(大阪大学)

[参加者数] 30名

③ 奥能登アーカイブプロジェクト ディレクション

[実施内容] 地震や水害の影響を受けた珠洲や奥能登において、地域の皆さんから収集した過去のまち並みや風景の記録をデジタルデータとして保存し、未来の防災教育やまちづくり役に役立つプロジェクト「奥能登アーカイブ」が、奥能登珠洲ヤッサープロジェクトが事務局となって始動。拠点となる「スズレコードセンター」の開設に向け、ディレクションを担当し、準備を行った。

参考 URL : <https://okunoto-archive.jp/>

④ 展覧会「しないでおく、こと。ー芸術と生のアナキズム」参加

[実施内容] remoが入居しているコーポ北加賀屋が、出品作家として豊田市美術館主催の展覧会「しないでおく、こと」展に参加。関連イベントとして、コーポ北加賀屋のメンバーによる炊き出しとアナキスト・ブックフェアを行った。

[会期] 2024年10月12日(土)~2025年2月16日(日) 10:00~17:30

[会場] 豊田市美術館

* 関連イベント コーポ北加賀屋「炊き出しとブックフェア」

[日時] 2025年2月16日(日) 12:00~17:30

[会場] ドットアーキテクツ屋外作品「hutF」(豊田市美術館庭園内)

[来場者数] 約100名

(2) ワークショップ事業

[事業の対象者] 不特定一般

①ご近所映画クラブ

[内容] 「ご近所映画クラブ」は、フランスの映画監督ミシェル・ゴンドリー氏が数時間で企画から上映までを行う映画製作メソッドをもとにしたプログラム。

2024年度は、兵庫・大阪の2箇所で開催。指導・進行を担当し、参加者が「企画」「計画をたて」「撮影をする」の3段階を相談しながら3時間で映画をつくり、鑑賞会を実施した。

①-1 (だいたい) 3時間で映画をつくる！ご近所映画クラブ

[内容] KIITO 主催、神戸市立三宮図書館との連携事業である「Assemble—変容する「場」の可能性を考えるトークセッション」のワークショップ編にて開催。図書館を含めた KIITO 内の各所で撮影。作品完成後は上映会を行った。

[日時] 2025年1月11日(土) 11:00~16:00

[場所] デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 303 および館内各所

[参加者数] 30名

参考 URL : <https://kiito.jp/schedule/event/articles/71598/>
<https://kiito.jp/news/2025/05/23/74170/>

①-2 (だいたい) 3時間で映画をつくる！ご近所映画クラブ

[内容] 「第20回大阪アジア映画祭」における参加型ワークショップとして実施。子どもから大人まで公募によって参加したメンバーが3つのグループに分かれ、「もりのみやキューズモール」内の各所で撮影した。完成後はまちライブラリーで上映を行った。

[日時] 2025年3月9日(日) 14:15~18:00

[場所] まちライブラリー@もりのみやキューズモール

[参加者数] 26名

参考 URL : <https://oaff.jp/programs/workshop2025/>

②藤島イルミネーション PR 動画制作ワークショップ

山形県鶴岡市内のイルミネーションイベントの関連企画として、高校生向け動画制作ワークショップのファシリテーションを担当。市内在住の高校生が、「写ルンです」と「日記シート」を使って、27日間の写真日記に取り組んだ。それをもとに編集した動画が、イ

ベント主催者の SNS アカウントで投稿されたほか、閉幕時にプロジェクションマッピングとして投影された。

*ワークショップ:

[期間] 2024 年 10 月 19 日 (土) ~11 月 15 日 (金)

[会場] 鶴岡市藤島庁舎、オンライン

[参加者] 9 組 (13 名)

*クロージングイベント (プロジェクションマッピング)

[日時] 2025 年 1 月 13 日 (月・祝) 17:30~19:00

[会場] 東田川文化記念館

参考 URL : <https://www.instagram.com/p/DBfQ3kThDwx/?hl=ja>

<https://www.instagram.com/p/DEoC8kEBwQu/>

(3) 情報収集、研究及び発信事業

[実施内容] 2024 年度実績として任意団体、大学法人等からサーバ管理等を受託。

[事業の対象者] 不特定多数

(4) 活動支援事業

当法人のメディアに関するノウハウを駆使し、様々なプログラムに企画協力やトークゲストとしての参加のほか、記録映像制作、教材用 DVD、機材提供など制作支援を行った。

*災間スタディーズ：震災 30 年目の“分有”をさぐる

#1 クロストーク「記録を読み替え、表現をつくる」ゲスト

[日時] 2024 年 7 月 13 日 (土) 14:00~17:00

[ゲスト] 松本篤、小原一真 (写真家)

[聞き手] 高森順子

参考 URL:<https://kiito.jp/schedule/event/articles/65067/>

<https://kiito.jp/news/2024/08/24/70075/> (レポート)

* イベント「わたしの記憶、わたしたちの記憶 (仮) 」サトウアヤコ×松本篤

[日時] 2024 年 12 月 8 日 (日) 17:00~19:30

4. 社員総会の開催状況

第23回通常総会

開催日時：2024年5月28日（火）20:00～22:30

開催場所：NPO 法人記録と表現とメディアのための組織

※新型コロナウイルス等感染症への感染防止を考慮し、一部オンラインによる開催

出席者数 正会員14名中12名（うちオンライン出席6名、委任状2名）、欠席2名

議事内容：

2023年度事業報告および決算報告について

2024年度事業計画および活動予算について

5. 理事会の開催状況（場所はNPO 法人記録と表現とメディアのための組織）

開催日時：2025年2月26日（水）20:30～22:00

議題内容：2024年度中間決算について

以上